



奈良県経済の概況

一部に弱さもみられるものの、緩やかに持ち直しの動きが広がっている

個人消費 ▶▶▶ 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2 か月連続の減少

住宅着工 ▶▶▶ 新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月連続の減少

公共投資 ▶▶▶ 西日本建設業保証の公共工事請負金額は前年同月比 6 か月連続の減少

雇用情勢 ▶▶▶ 有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント上昇の 1.42 倍

企業倒産 ▶▶▶ 倒産件数は 3 か月連続の一桁台

生産活動 ▶▶▶ 鉱工業生産指数は前月比 2 か月連続の上昇

1

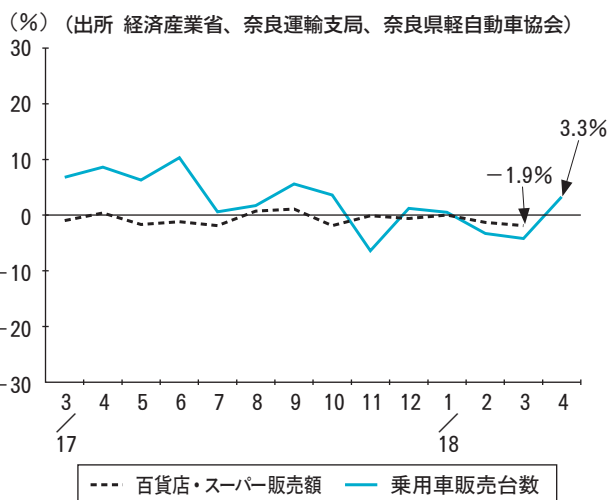
個人消費

百貨店・スーパー販売額は前年同月比 2 か月連続の減少

3月の百貨店・スーパー販売額（全店ベース、速報）は、前年同月比 1.9%減の 174 億 99 百万円で、2 か月連続の減少。衣料品は同 1.6%減、飲食料品は同 2.4%減となった。なお、既存店ベースでは同 0.4%増と 5 か月連続の増加。

4月の乗用車販売台数（普通+小型+軽）は前年同月比 3.3%増の 3,232 台と、3 か月ぶりの増加。車種別にみると、普通乗用車は同 5.7%減の 978 台と 2 か月ぶりの減少、小型乗用車は同 1.9%減の 910 台と 7 か月連続の減少。軽乗用車は同 15.6%増の 1,344 台と 8 か月連続の増加となった。

百貨店・スーパー販売額、乗用車販売台数（前年同月比）



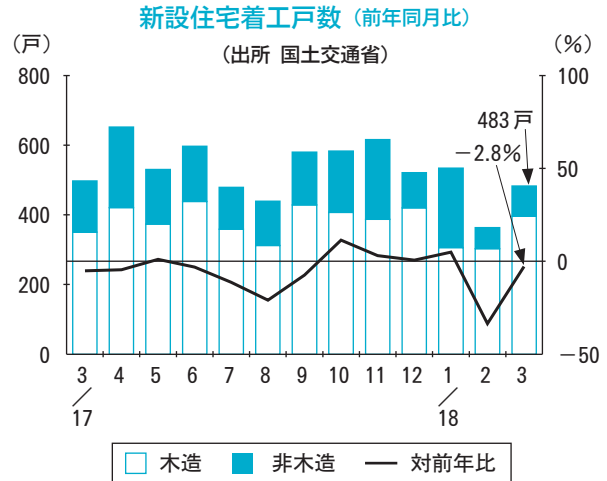
2

住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 2 か月連続の減少

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 2.8% 減少し 483 戸。持家は前年比横ばい、貸家、分譲住宅が共に減少した。全体では 2 か月連続の減少。

利用関係別にみると、持家は前年比横ばいの 195 戸、貸家は同 7.9% 減の 152 戸と 2 か月連続の減少、分譲住宅は同 0.7% 減の 136 戸と 3 か月連続の減少となった。



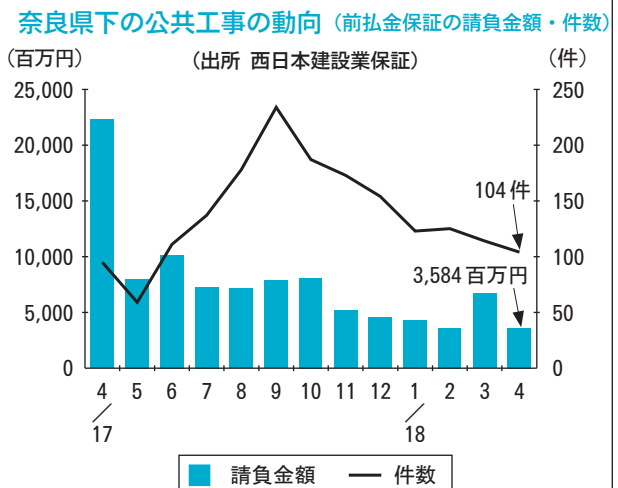
3

公共投資

西日本建設業保証の公共工事請負金額は前年同月比 6 か月連続の減少

西日本建設業保証の保証取り扱いから 4 月の公共工事請負金額の動向をみると、全体では前年同月比 83.9% 減の 35 億 84 百万円と 6 か月連続の減少。

発注者別にみると、国は 6 億 1 百万円（前年同月比 52.6% 減）、県は一般国道 169 号高取バイパス（仮称）清水谷トンネル工事などにより 17 億 83 百万円（同 40.2% 減）、市町村は 10 億 23 百万円（同 55.6% 減）、その他の公共的団体は 177 百万円（同 98.9% 減）となった。



（注）請負金額・件数は、国、独立行政法人、奈良県、市町村、その他の数値を合計したもの。公共工事のカバー率は約 7 割。

4

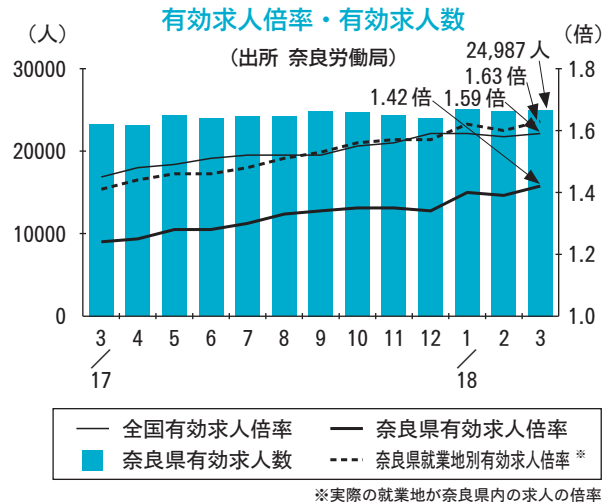
雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.03 ポイント上昇の 1.42 倍

3月の雇用情勢をみると、求人数は、新規求人数（季調値）が前年同月比 11.0%増の 8,970 人と 5 か月連続の増加、前月比は 0.6%増。有効求人数（同）は前年同月比 6.2%増の 24,987 人と 35 か月連続の増加、前月比は 0.7%増。

一方、求職者数は、新規求職者数（季調値）が前年同月比 7.3%減の 4,252 人と 11 か月連続の減少、前月比は 1.4%減。有効求職者数（同）は前年同月比 7.5%減の 17,605 人と 27 か月連続の減少、前月比は 1.1%減。また、雇用保険受給者の実人員数は前年同月比 4.0%減の 3,481 人と 25 か月連続の減少。

以上により、新規求人倍率（季調値）は 2.11 倍（前年同月比 0.35 ポイント上昇、前月比 0.04 ポイント上昇）となった。有効求人倍率（同）は 1.42 倍（前年同月比 0.18 ポイント上昇、前月比



0.03 ポイント上昇）となった。なお、就業地別有効求人倍率は 1.63 倍（前年同月比 0.22 ポイント上昇、前月比 0.03 ポイント上昇）であった。

5

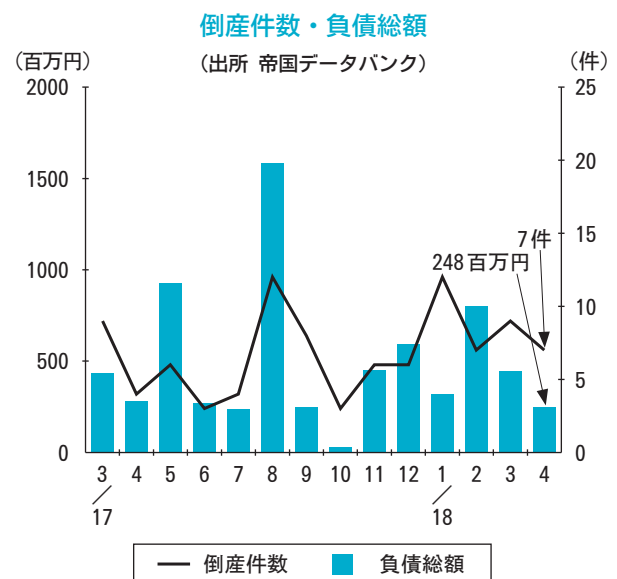
企業倒産

倒産件数は 3 か月連続の一桁台

4月の倒産状況をみると、件数は前年同月比 75.0%増の 7 件となり、3 か月連続の一桁台。負債総額は同 12.4%減の 2 億 48 百万円と 4 か月ぶりの減少となった。

負債額別では、1,000 万円～5,000 万円未満が 6 件、1 億円～5 億円未満が 1 件となった。

従業員別では、全てが 0～4 人であった。要因別では、全てが競争の激化や消費動向の停滞などを背景とした販売不振であった。業種別では、小売業が 3 件、サービス業が 2 件、建設業、卸売業が各 1 件であった。倒産形態では、自己破産が 6 件、民事再生法が 1 件であった。



6

生産活動

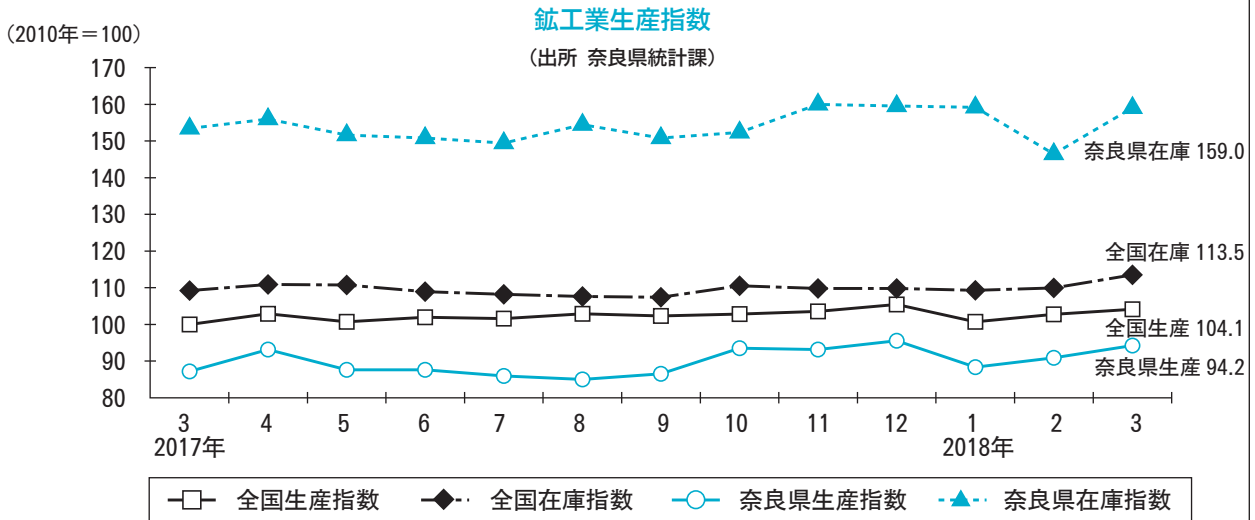
鉱工業生産指数は前月比2か月連続の上昇

3月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比3.6%上昇の94.2となり、2か月連続の上昇。原指数は前年同月比6.8%上昇の103.3となり、6か月連続の上昇。在庫指数（季調値、速報値）は、前月比8.6%上昇の159.0となり、4か月ぶりの上昇となった。

業種別生産指数の動きを見ると、一般機械工業、化学工業、食料品・たばこ工業等の11業種が前

月比上昇し、印刷業、プラスチック製品工業、その他製品工業等の6業種が低下。

100.0を超える水準にあるのは、印刷業（161.8）、その他製品工業（152.3）、化学工業（139.2）、金属製品工業（131.3）、パルプ・紙・紙加工品工業（124.3）、一般機械工業（119.4）、輸送機械工業（116.1）、木材・木製品工業（104.6）の8業種となり前月比2業種増加した。



奈良県鉱工業生産指数、在庫指数の業種別の動き（3月）

(注) 生産系列の総合指数（季節調整済指数）で上昇・低下に寄与した業種の順番で掲載している。前月比、前年同月比は（%）

業 種 名	生 産		在 庫				
	季節調整済指数		原 指 数	季節調整済指数		原 指 数	
	前月比	指 数	前年同月比	前月比	指 数	前年同月比	
上	一般機械	22.8	119.4	26.6	16.7	165.6	▲22.9
	化学工業	17.8	139.2	16.5	▲1.1	115.7	▲5.4
	食料品・たばこ	3.9	96.1	2.1	6.8	112.9	2.5
	金属製品	6.1	131.3	▲11.4	▲14.5	108.3	10.3
	輸送機械	3.7	116.1	0.4	—	—	—
	電気機械	63.6	5.4	9.1	27.8	3.6	▲24.6
	非鉄金属	18.4	90.2	0.0	0.9	93.3	3.1
	木材・木製品	10.6	104.6	13.1	1.2	122.6	2.1
昇	窯業・土石製品	17.4	85.2	▲24.4	▲0.6	34.4	▲8.9
	ゴム製品	6.8	74.9	▲3.7	1.6	106.1	▲0.9
	鉄鋼業	9.2	95.4	▲6.4	11.5	140.1	14.5
低	印刷業	▲9.3	161.8	15.2	—	—	—
	プラスチック製品	▲6.3	85.3	0.0	33.3	81.0	30.7
	その他製品	▲7.2	152.3	22.0	x	x	x
	繊維工業	▲4.8	73.7	▲9.7	▲2.9	116.5	10.7
	皮革製品	▲36.3	45.0	▲10.4	▲6.4	107.2	▲2.0
パルプ・紙・紙加工品	▲0.6	124.3	▲1.3	2.1	258.7	34.0	

(注) x：対象企業が少ないため公表されていない。